



青木 和夫 議員

都市基盤の整備について

問 現在の古河市の道路網は、南北の路線は充実しているが、東西の路線が非常に少ないので交通渋滞を起こしている。渋滞解消のために、現在整備している筑西幹線道路の延長を提言する。また、市民が日常生活で支障をきたしている生活道路の整備を早急に進めていただきたい。

答（都市建設部長） 筑西幹線道路に連絡する道路の整備につい

て、県道境間々田線からさらに西への事業化については、都市計画道路の見直しとともに、再検討していく。生活道路の整備については、限られた予算および人員配置の中で効果を発揮できるように事務の効率化を図り、整備を行っていききたい。

古河駅東部土地区画整理事業について

問 区画整理地内に文化施設建設用地を求めるとすると十間通りに面した南側しか残っていない。市のためなら協力するという話も聞いている。今後の土地利用を含め地権者の意向を聞く必要があると思うが考えを伺う。

答（企画政策部長） 市民の芸術

文化活動の拠点となる文化施設の整備検討に当たっては、市全体の土地利用や市民の意見を伺いながら総合的に勘案する必要があると認識している。

答（都市建設部長） 地権者の意向調査については、調査結果をもとに事業費の削減、早期完成につながるものがあれば事業に取り入れていきたい。

開発の進む
古河駅東部土地区画整理事業

《その他の質問》

・入札について



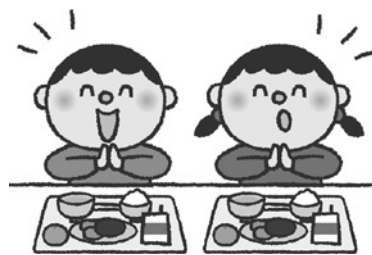
古川 一美 議員

自校給食室の環境改善について

問 子どもや保護者から大変評判のよい自校給食だが、給食室に空調設備がないため、高温多湿で労働環境が非常に悪く、安全面も心配だとの声を聞く。①必要性を把握していても改善されない理由②今後の対応について伺う。

答（教育部長） ①スポットクーラー設置等の対策は講じているが、根本的な解決には至ってい

ない。②現在空調機的设计等準備を進めており、設置は来年夏休み頃を予定している。



英語特区事業について

問 グローバル社会で活躍できる人材育成のために進めているが①今までの成果②目指す成果について伺う。③テレビ電話での海外の子どもとの交流や海外研修等、夢や目標を持って挑戦できる事業を将来的に検討してはどうか④世界に関心を持ち、先進国である日本人として世界

に貢献するという視点を養うため長期ビジョンを持った英語教育が必要と考えるが所見を伺う。

答（市長） ④英語に限らず、外国語をより重要視する傾向にあり、古河市民のグローバル化に向かって行政としても努力しなければならないと考えている。

答（教育部長） ①イングリッシュキャンプにおいて、子どもたちが積極的に英語で話しかけるようになった。②英語検定の受験率を高め、英語特区の中で学んだ子どもたちの英語でのコミュニケーション能力を深めていきたい。③ネットでの交流等は理想型である。そういった未来像を持ちながら、まずは基礎をしっかり定着させたい。